

転換社債の償還に成功、新株予約権の行使が進行中 H-1337の米国後期第II相臨床試験のデータ公表は2024年後半予定

決算サマリー

※ DWTIは、8/9(金)15:30に2024/12期2Q連結決算を発表した。売上高は前年同期比19.1%増の223.5百万円で、以下の上市品からのロイヤリティ収入が寄与した。1) 緑内障・高眼圧症治療薬のグラナテック®点眼液0.4%/グラアルファ®配合点眼液（興和販売）2) 「DW-1002」ブリリアントブルー-G眼科手術補助剤は、単剤のILM-Blue®/TissueBlue™、およびMembraneBlue-Dual®（D.O.R.C.販売）を含む。グラナテック®点眼液のロイヤリティ収入は減少したが（2024年9月に終了予定）、グラアルファ®配合点眼液が引き続き拡大し、グラナテック関連製品合計では前年同期比13.3%増となった。DW-1002のロイヤリティは円安がさらに追い風となり、20.4%増加した。2024/12期上期の研究開発費はH-1337（米国後期第II相臨床試験）およびDWR-2206の開発費が増加したことにより、521.4百万円（前年同期比76.9%増）となった。ただし、H-1337の開発費が想定を下回ったため2Qの研究開発費は174百万円と前年同期比で減少している（右下グラフ参照）。総額は同プロジェクト終了後に計上予定。

※DWTIとメドレックス社は7月に米国FDAよりDW-5LBTリドカイン貼付剤の審査完了報告通知を受け取った。これはFDAが1月に再申請されたデータの一部について追加データの提出を求めたものであり、両社は再申請を目指して追加解析を進めることを決定した。DW-1002については、DORCが今年中に中国でILM染色用の単剤の承認取得と上市を目指している。わかもと製薬が今年国内申請する予定の計画は、米国のデータ使用に関する基準や品質に関連する問題の影響を受ける可能性がある。旧転換社債は新社債の調達資金で償還され、7月31日時点で新株予約権の行使により313百万円が調達された（これまでの行使率は29.2%）。

DWTI FY24/12期2Q(上期)連結決算概要および会社予想

百万円, %	FY23/12	FY24/12	前期比	FY23/12	FY24/12	前期比
[J-GAAP]	上期実績	上期実績	増減額	実績	期初予想	増減額
売上高	188	224	36	428	400	-28
YoY	-10.6	19.1	—	-4.4	-6.6	—
・日本	65	76	11	151	—	—
・オランダ	122	148	25	278	—	—
売上原価	15	19	4	37	—	—
売上総利益	173	205	32	392	—	—
販売管理費	431	655	223	1,190	—	—
・研究開発費	295	521	227	931	1,600	669
対売上高比率	157%	233%	—	217%	400%	—
・その他販管費	137	133	-3	260	—	—
営業損益	-258	-450	-191	-799	-1,500	-701
経常損益	-255	-459	-205	-796	-1,510	-714
親会社株主に帰属する当期純利益	-248	-521	-273	-812	-1,510	-698
主要B/S指標	[2Q act]	◀◀	[4Q act]			
・現預金	1,301	-566	1,867			
資産合計	2,066	-308	2,373			
負債合計	1,210	116	1,094			
純資産合計	856	-424	1,280			
自己資本比率	41.2%	—	53.9%			

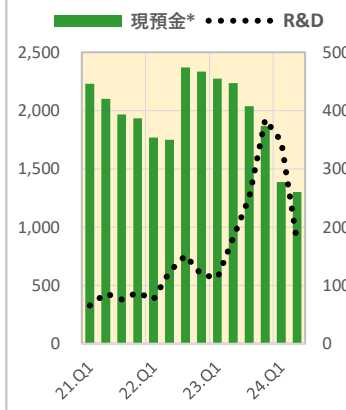
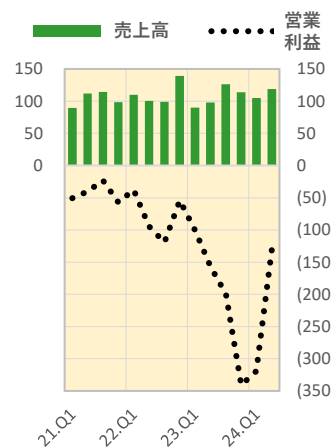
出所：同社決算短信、四半期有価証券報告書よりSIR作成

2Q Flash



D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

主要財務指標 (百万円)



出所：同社決算短信よりSIR作成
*現預金はB/S上の現金・預金

クリス・シュライバー CFA
アナリスト

research@sessapartners.co.jp



本レポートは株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレマーをご覧ください。

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp